

ライブストリーミングを楽しむ(19)
—111回 TWILIGHT CONCERT—

1. 始めに

111回 TWILIGHT CONCERT と称する無観客ライブの公開の案内があり、視聴してみました。

<https://pr.ijj.ad.jp/live/>



2. ライブストリーミング情報入手源と PC および使用機器環境

111回 TWILIGHT CONCERT は次のようなプログラムです。

「年の瀬にふさわしいベートーヴェンの《第九》とチャイコフスキーの《くるみ割り人形》とアルチュニアンのアルメニア狂詩曲

名手、迫昭嘉が、有吉亮治と息の合った演奏で、クリスマス前の一夜にお届けする音楽の贈り物

プログラム最後には、ソプラノの谷原めぐみを迎えてクリスマスソングもお届けします。」

演奏：

迫昭嘉（ピアノ）

有吉亮治（ピアノ）

谷原めぐみ（ソプラノ）

曲目：

チャイコフスキー（エコノム編）：「くるみ割り人形」組曲

アルチュニアン：アルメニア狂詩曲

ベートーヴェン（リスト編）：交響曲第9番二短調 op.125

《合唱つき》より第4楽章ほか

111TWILIGHTCONCERTプログラム

3. ライブストリーミングの経過

TWILIGHT CONCERT は東京大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」と題して大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートですが、今回も無観客で配信のみでの参加可能です。





2台のピアノによる編曲版の迫力ある演奏の後、ソプラノのお馴染みのクリスマスソング2曲で締めくくられました。

ピアノはヤマハが使用されていましたが、配信でも十分ヤマハらしい音がしており、2名のピアニストの息もぴったり合って聴き応えがありました。

ベートーヴェンのリスト編交響曲第9番は迫昭嘉の得意とするもので、この時期によく演奏するとのことでした。

4. まとめ

バランスアナログアキュライザーが加わったことにより、音質はこれまでのYouTubeなどの限界を超えた感があり、ライブ感は十分出ています。演奏会開催ができない間、こういった企画で演奏家と音楽愛好家を繋ぐ手段としてあってもいいと思われれます。

以上